

のばこども 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のばこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：古川 美帆

令和6年4月 第39号

のばこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

心地よい春風薫る季節となりましたね🌸ご入園、ご入学、進級された皆さま、心よりお祝い申し上げます。コロナが5類に移行して初めての春。そして春は出会いと別れの季節...わたし自身は若い頃(いつ?笑)からワクワクより不安感のほうがずっと大きいです。ですので不安を抱えるこどもたちやその保護者の方の気持ちが少しはわかるつもり...そんな不安に寄り添いながらもこどもたちが心身ともに健康で、ストレスや環境の変化に負けない心が育つためのお手伝いができるよう、引き続き地域の皆さまのお力をお借りしながら前を向いて歩みを止めることなく進みたいと思います。

開所11年目の春です。今後とも関係機関の皆様のご協力のもと、こどもたちが笑顔で毎日を過ごせるよう、地域の身近な相談窓口として職員一同取り組んでまいり所存です。コロナが5類に移行したとはいえ、感染がなくなったわけではないのですから引き続き感染症予防には注意を払い、皆さまが少しでも安心できるように業務を行っていきたくと思います。今年度もよろしくお願ひいたします。

のばこども家庭支援センター長

のばこども地域交流事業

2月には幼児さん向けの工作イベント「風船ぼんぼりをつくろう」を実施し、ひな祭りに向けて和紙でぼんぼりを作りました。最後まで集中して取り組む子どもたちの姿にはいつも感心させられます。工作終了後には、大人も子どもも一緒になって職員の作った新聞紙ドームの中に入って盛り上がりました!



3月には年度内3回目となる小学生向けのダーツイベントを実施しました。今回もたくさんの方が参加してくださり、中には続けて来てくれている方も。子どもはもちろん保護者の方が楽しむ姿を見られた点でも、とても良い時間でした!



のばこども日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(*^_^*)

朝晩まだまだ寒い日々が続きますが、子育て短期に訪れる子供たちは元気いっぱいです。昼間は園庭でバトミントンをしたり、室内で学校ごっこ。夕方になると、「部屋を暗くしてお化け屋敷ごっこしよう!」と職員に見つからないように隠れ、知らずに通ると「わ!」と脅かしてくれます。お化けに弱い職員は腰を抜かして床にへたりこみます。とても楽しい一日があっという間に過ぎていきます。



想 感 考 望

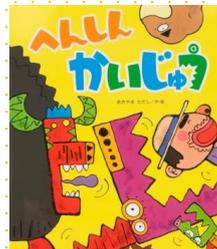
のばこども職員のひとりごと...

先日、妹と弟が横浜に遊びに来てくれました。地方で生まれた私たちは、今はそれぞれが別の地域で暮らしています。そこで、今回私の住んでいる横浜に集合となったわけですが、家系ラーメンを食べたり、中華街を回ったりして横浜を堪能してもらいました!子どもの頃は話せば喧嘩になり、泣いて怒って部屋に閉じこもる毎日...それが今では笑いながら話したり遊んだりできるようになったことを思うと、お互い成長したんだな~としみじみ感じました。

絵本の紹介

へんしんかいじゅう

作・絵：あきやただし
出版社：金の星社



ことばあそびの絵本です。へんしんシリーズは絵本に出てくる言葉を繰り返しながら読んでいると言葉が違う言葉に変身します。今回はかいじゅう編でへんてこなかいじゅうに変身するので怪獣の名前を知らなくても楽しめます。言葉の不思議なおもしろさに、こどもも真似して繰り返して大笑い。へんしんシリーズは全21作品あります。まだ読んだことがないへんしんシリーズも読んでみたいと思っています。

のばこども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで(祝日、年末年始除く)
受付時間：9時~17時

